

2021年3月4日(木)

老球の細道597号

超難関狭き門、プロ選手への道

会津バスケットボール協会 室井 富仁

先週の週末は久しぶりのBリーグディレクターの仕事があった。コロナ禍や先月の地震の影響で開催が危ぶまれていたが、会場を「あづま総合体育館」に変更して無事開催に至った。「東日本大震災復興10年イベント」として福島県が共催し、バスケットボールのゲームのみならず、色々なイベントやショータイムが付加価値として加わり、大いに楽しませてもらった。観客数もこのご時勢下で1,800人(2月28日)を越える盛況だった。

試合は福島ファイヤーボンズ対山形ワイヴァンズのカード。共にB2リーグのプレイオフ出場を目指して順位争い真最中のため、熾烈な戦いを繰り広げてくれた。ホームの福島は怪我人が多く、外国人選手の入れ替えなどもあって、攻防共に堅実なバスケットボールをする山形に2戦とも惜敗した。特に山形には会津地区出身の上杉君もいるので注目して観ていたが、セルビア人コーチの指揮下でディフェンスの激しさ、ドライブからのキックアウトのしつこさは非常に勉強になった。

ゲーム前に福島県に関係のある多くのバスケットボール・スポーツ界の有名人からビデオメッセージが届けられた。その中に現在Bリーグでプレイする福島県出身選手のメッセージもあった。そこで、現在福島県出身でBリーグでプレイしている選手は何人いるのかピックアップしてみた。

- * 鎌田裕也(仙台89ERS) いわき出身、湯本高校、大東文化大学
- * 船生誠也(琉球ゴールデンキングス) いわき出身、前橋育英高校、青山学院大学
- * 菊池真人(名古屋ダイヤモンドドルフィンズ) 県南出身、日大東北高校
- * 山内翼(福島ファイヤーボンズ) 郡山市出身、日大東北高校、東海大学
- * 菅野翔太(福島ファイヤーボンズ) 二本松市出身、福島工業高校、東北学院大学
- * 上杉翔(山形ワイヴァンズ) 会津若松市出身、坂下高校、拓殖大学

私が現在把握しているところでは上記のたった6名である。わが会津地区からは1名のみ。この6名がプレイしていた中学校、高校時代、福島県、会津地区では何人の選手たちがバスケットボールをプレイしていただろうか。それを考えるとプロ選手になる、なれるということは、いかに難関で狭き門であるかが想像される。

かつて明治維新の英傑を多数輩出した長州のように、バスケットボールのトップアスリートを多数育てる会津地区であることを夢見る毎日である。上杉君の次に続く会津出身のプロバスケットボール選手は現れないのだろうか。いないわけではないだろうが、探して育てなければならぬのが指導者の仕事である。

世界的な起業家やアスリートを多数輩出している米国スタンフォード大学では、最初の授業で学生に失敗することを経験させる。「失敗を恐れない」精神こそ、起業家やトップアスリートの「幹となる資質」としてとらえ、それを育てることを大切にしているという。